第23回全日本少年少女空手道選手権大会

監督会議資料

審判長 江尻 昌広 副審判長 安住 敏克 小島 万記

1、全体の注意点

(1)運営面

- ① 選手が入場し整列した状態で開始式を行う。(最初の競技のみ) 選手はモニターの前、監督は控え席、審判員は所定の位置。
- ② アリーナ内に持ち込めるものは、タオル・ペットボトルのみ。
- ③ アリーナ内でアップできるのは、次の選手のみ。
- ④ ID カードは、チェックのみとし回収はしない。ただしドクターの記入のあるものは回収し コート主任に渡す。
- ⑤ 空手着、帯、ゼッケン、安全具チェックについては、招集場にておこなう。特に、上着の長さは大腿部の4分の3まで、ゼッケンの縫い付け、マジックテープの強度をチェックする。(特にメンホー・拳サポーター) 招集場でチェックされたものは1分ルールの適用とはしないが、試合までに改善されていること。試合場で1分ルールが適用となった選手の監督はその試合につくことができない。※空手着の長さについては、一回で違反と判断するのではなく、教育的な観点から指導し試合出場を出来る限り妨げないように考慮し柔軟に対応をする。
- (7) 正副審判長とコート主任は全体連絡を取るために携帯電話を使用する場合がある。

(2) 異議申し立てについて

- ① 試合中の場合はすぐにおこなう。
- ② 試合後の場合はコート主任へ申し立てる。
- ③ 次の試合が始まった場合は異議申し立てを受け付けない。

(3) 服装

- ① 監督・コーチ・選手は競技規定に沿った清潔な白の空手着を着用すること。空手着メーカー については指定をしない。アリーナ内での靴サンダル等の使用は禁止。監督が空手着の内側に T シャツを着るのであれば白地とする。
- ② 左胸に県名を入れること。 空手着の袖や裾が長い場合は内側に折って縫い合わせてあるものは許可する。
- ③ 出場選手は参加賞のワッペンを空手衣の左肩口に縫い付けること。

(4) 組手安全具

- ① 組手全種目に全空連検定品である小学生用拳サポーター(赤・青リバーシブル)、ニューメンホー (No.6 か No.7)、メンホー用マウスシールド(ミズノ製) 任意装着、ボディプロテクター、小学生用インステップガードとシンガード。(新型旧型共に可)
 - ※ 安全具着装のない選手は出場できないので、十分注意すること。
- ② 小学3~6年生男子組手出場選手は必ずセーフティカップを着装すること。1、2年生は所属の指導者(監督・コーチ)の判断に委ねる。

2、組手競技

(1)運営面

- ① 3位決定戦は行わない。
- ② 競技時間は1分30秒フルタイム 6ポイント差とする。
- ③ 競技規定、付録 10:14 歳未満の空手競技/組手試合(12 歳未満)下記の部分を適応する。 ・足払い、又はその他の投げ技は禁止とする。
- ④ 負けた選手から随時退場する。
- ⑤ 試合時の入退場について スコアボードに名前が出たら、主審にゼッケンを見せてコート内に入る。名前のコールはなし。 試合前後は礼をし、ハグ、グータッチ、握手等はしない。
- ⑥ 試合が連続する場合 コーナーが変わる場合は3分、同じコーナーの場合は1分30秒のインターバルをとる。
- ⑦ 監督は必要以上の指示をしない。2回主審に注意された場合、その試合は退場となる。

3、形競技

(1)運営面

- ① 選手の出入りについて
 - ・選手はコートの角 (コーナー) に待機し、スコアボードに自分の名前と形名が表示されたらコートへ入り演武を始める。(名前は呼ばれない) 演武終了後、礼をしたのち、真っ直ぐに後ろに下がり判定を待つ。
 - コート出入りの礼はしない。
- ② 礼について。(監督の促し)
- ③ 形名を先に言い、その後に礼をしても反則減点とはならない。

◇1回戦からベスト8まで

① 旗方式・トーナメント方式で行う。

◇準決勝ラウンド

- ① 得点方式で行う。
- ② 準決勝ラウンドに進んだ8名が A グループ4名と B グループ4名に分かれる。
- ③ ラウンド開始・終了の挨拶は審判団に向かって横一列に並んで行う。
- ④ ラウンド演武順は抽選で順番を決める。

◇3位決定戦

- ① Aグループの2位とBグループの3位、Aグループ3位とBグループ2位で行う。
- ② 2名同時に演武する。

◇決勝戦

- ① 各グループの1位同士で行う。
- ② 1名ずつ演武する。

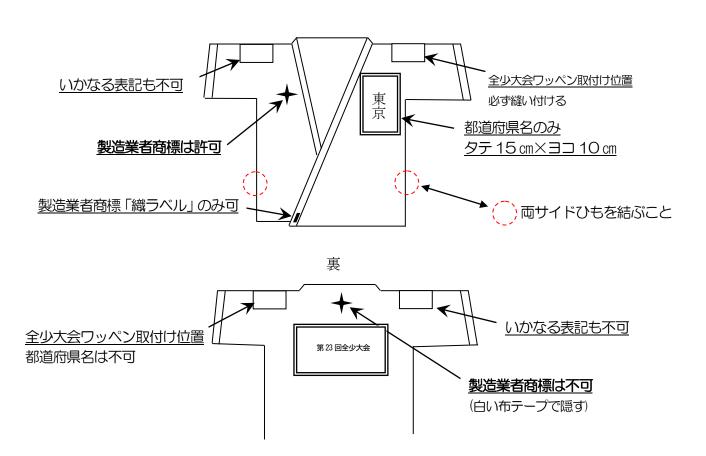
(2)形の指定

- ・1回戦からベスト8までは基本形とする。同じ形を繰り返し演武することができる。
- ・準決勝ラウンドは1回戦からベスト8までで使用していない基本形、もしくは第1指定形・ 第2指定形とする。
- ・3位決定戦ならびに決勝戦はそれまでに使用していない基本形・第1指定形・第2指定形とする。

ワッペン・ゼッケン・胸マークについての注意事項

空手着の製造業者商標のラベルの表記については、製造業者が上衣の裾表側、ズボンの表側(左右どちらか)にはじめから付けられた「織ラベル」は可。今大会で指定された以外のワッペン、刺繍等は一切認めない。※各流派等のオリジナルラベルは認める。

表



【空手着について】 氏名・ゼッケン・都道府県ワッペン・全少参加賞ワッペン・製造業者商標「織ラベル」以外の装飾は不可。ゼッケンはしっかりと縫い付けること。

【帯について】 刺繍可(刺繍糸の色は問わない)